

## 解 答

問一 （1）① ひとけ ② 夢 ③ こまごま ④ 平生 ⑤ 測（計）

（2）㊦ ウ ㊧ エ ㊨ イ

問二 子犬の頃は、虎の子に似たブルドッグで、のそのそものぐさそうに歩いて、うれしい時は一声だけ吠えた。ゴリという土佐ブルと時々格闘し、いつも負けるが、辛抱よく闘った。仲のよい時は、ゴリに子供のようにあまえる一面もあった。

問三 引っ越した後も、住みなれた前の家にもどってしまい、食物もろくにとらず野良猫になった。やせ衰え、死にそうになりながらも、古い家から離れられずうろつきまわる、その姿とその習性をあわれんでいた。

問四 勝ち目のない相手にも格闘を挑んでいく、負けん気が強く純粋な鉄の性格と行動を、あきれながらも好ましく思っている。面倒もさほど苦にならず、叱ると申し訳なさそうな態度をとる鉄をかわいく思っている。

問五 どうてい勝てる相手ではないとわかっていても、闘うことで鉄はブルドッグとしての本性を確かめていたのであろう。鉄にとってゴリは、生活に張りを与えてくれる、互いに認めあった親友のような存在だったのだ。

問六 四年前、ディステンパーになった時も「まあ、あきらめてもらいましょうか」と言われたが助かったのに、今回は言葉どおりになってしまった。あきらめきれない思いをかみしめながら、鉄の死を心から悼んでいる。